

- ガーデンシティ舞多聞みついけ・てらいけプロジェクトのご紹介(P.1)
- 住民合意で街区内すべての路地整備が完了!(長田区二葉町8丁目)神戸らしい夜景づくりの取り組み進行中(P.2)
- 祝*10年 まちセン研究ネット K-T E C © (P.3)
- 会館20周年12月イベント/まちなかニュース@福住通3丁目 ほか(P.4)

発行:神戸市立 こうべまちづくり会館

バックナンバーはこちら <http://www.kobe-sumai-machi.or.jp/matisen/>

住まい手が主体となった緑豊かなまちづくりを目指して

🌿 ガーデンシティ舞多聞みついけ・てらいけプロジェクトのご紹介 🌿

緑の都市賞を受賞しました!

1. ゴルフ場時代の面影を残す自然住宅地

ガーデンシティ舞多聞は垂水区の舞子ゴルフ場跡地(約108ha)を、UR都市機構(以下「UR」)が土地区画整理事業により整備しているニュータウンです。

地区周辺は市街化の熟成した住宅地であることから、貴重な緑資源であったゴルフ場時代の面影をできる限り残す計画とし、地区の東西2つのエリアでこれまでのニュータウンとは違った自然住宅地「みついけプロジェクト(68画地)」、「てらいけプロジェクト(162画地)」の取り組みを進めています。



みついけプロジェクト

同プロジェクトはゴルフ場のなだらかな地形やため池、樹林を生かして、緩やかな曲線を描く道路に沿って300㎡以上の多様な規模のゆとりある宅地を配置し、宅地内のセットバック空間に電線類を地中化するなど自然豊かな住宅地を実現するため、URと神戸芸術工科大学(以下「芸工大」)とが連携して計画プランを策定、実施しているプロジェクトです。

2. 参加型コミュニティデザイン

両プロジェクトでは、URと芸工大が連携して宅地募集前のワークショップや公開講座、造成中の現地見学会を開催し、プロジェクトの魅力を伝えるとともに、将来のコミュニティづくりの場となりました。ワークショップでの参加者の意見や議論をもとに、まちの価値を高め、守っていく、建築協定及び緑地協定のまちづくりのルール作りが行われました。

さらに、まちづくりのルールを見守るための「協定

運営委員会」といった住民の自治組織設立を行うなどのエリアマネジメントがすすめられています。

3. 緑の都市賞を受賞

緑地や宅地内の現況林は、住民の方々が活動している「舞多聞エコ倶楽部」のメンバーを中心に、住民の方々が管理しています。URと芸工大のサポートのもと、専門家を招いた学習会やワークショップを重ね、現況林を構成する樹種の特徴などの知識や、古来の里山管理の技術に触れ、住民の手による里山景観の再生に取り組んでいるところです。

また地区内の緑地では、「舞多聞エコ倶楽部」が主体となり、生物の観察会やホタルの幼虫の放流体験等を開催し、次代の子供たちにこの環境の素晴らしさを伝える活動を実施しています。

この特徴的なまちづくりの取り組みが評価され、これまで、グッドデザイン賞や都市景観大賞などを受賞しましたが、今年度は住民が主体となって、地区の緑や里山の育成を目指す取り組みが評価され、「第33回 緑の都市賞(都市緑化機構会長賞 緑の事業活動部門)」を受賞しました。

地域に残された自然を活かした環境共生型の住まいと暮らしを提供するとともに、その住環境が持続可能となるコミュニティ形成の実現を図るプロジェクト、てらいけプロジェクトにご興味持たれた方、住んでみたいという方は、公開講座・ワークショップには是非ご参加ください。詳しい情報はウェブで紹介しています。[てらいけプロジェクト](#)で検索を!



てらいけプロジェクト

(UR都市機構西日本支社)

住民合意で街区内すべての路地整備が完了！

— 市内初、事業開始から14年(長田区二葉町8丁目) —

密集市街地のひとつである長田南部地区では、“避難路の安全性確保”と“沿道建物の健全な建替え促進”を目的に、関係権利者全員の合意のもと、路地(2項道路)の中心線を確定し、建築基準法による幅員4mの道路空間を明確にしました。あわせて路地の舗装や側溝、水道等の地下埋設物を一体的に整備する「細街路整備事業」を進めており、これまで30路線の路地を整備してきました。

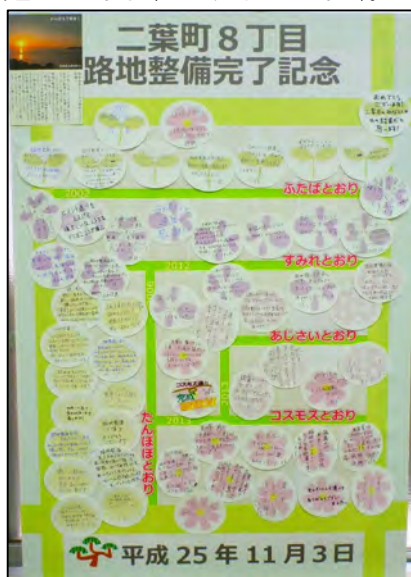


整備前



整備後

細街路整備事例



▲路地整備完了記念の寄せ書き

二葉町8丁目自治会では、路地がでこぼこで、雨水が溜まるなどの課題を解消するため、平成11年に細街路整備が発意され、平成25年11月に市内で初めて街区内の5路線すべての整備が完了しました。

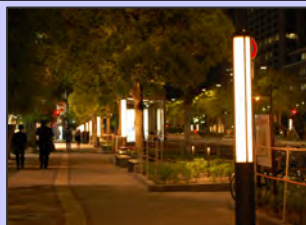
路地には、「たんぼ通り」や「コスモス通り」など花の名前がつけられ、完成記念式典では、それぞれの路地の花のカードに「願望の美しい花が路地路地に咲き揃いました。私たちみんなで大切に守っていきます。」などのメッセージが多数寄せられました。また、14年間、先頭になって進めてこられた自治会長に感謝状が、路地整備のきっかけとなる相談を持ちかけられた89歳の元副会長にサプライズで花束が贈られるなど、自治会の皆さんの思いが込められ、協働のまちづくりの成果の大きさと、素晴らしさが感じられる式典となりました。さらに、「高齢者の方が多いなか、災害時にどう避難するか」といった次のまちづくりにつながる課題についても語られました。今後も地域の皆さんと共に、安全で安心なまちを目指し、取り組みを進めていきます。(都市計画総局まち再生推進課)

神戸らしい夜景づくりの取り組み進行中

「一千万ドルの夜景」として親しまれてきた美しい夜景は、欠かすことのできない神戸の魅力の一つです。その夜景にさらにみぎきかけ、「デザイン都市・神戸」の都市ブランド力を高めていくために、市民・事業者・大学等・行政が協働で、神戸らしい夜景づくりに取り組んでいます。その一環としてこれまでに次のような取り組みを行っています。

フラワーロード 光のミュージアム

フラワーロードのシンボルである「花」「緑」「彫刻」を活かし、「光のミュージアム」をテーマとした魅力的な夜間の道路空間を創出します。平成24年度から順次、設計・工事に着手し、平成25年5月には市役所前約250mの区間が完成しました。今年度は花時計等で工事を行い、12月中に完成する予定です。



ピンクリボンデー

ハーバーランド煉瓦倉庫周辺整備

ウォーターフロントの新たな魅力の創出を図るため、昨年度に引き続きLED照明等により煉瓦倉庫やハーバーウォーク周辺の水際空間に、光の演出を実施する予定です。



神戸大橋ライトアップリニューアル

神戸港の夜景のシンボルのひとつである神戸大橋では、ライトアップリニューアルを行い、港の風景を幻想的に演出します。



試験点灯時

<神戸市の夜間景観の取り組みについてはこちら>

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/project/urban/night/index.html>

(都市計画総局まちのデザイン室)

祝*10年
まちセン研究ネット語り継ぐ 阪神・淡路大震災
～神戸防災技術者の会・最近の活動から(3)～K-TEC
倉橋 正己

今回は、結成10年を迎える神戸防災技術者の会(略称:K-TEC)の第2ステップの活動として重点的に行いたいと考えていることを紹介します。

1. 次の世代に伝承する

阪神・淡路大震災からもうすぐ19年。神戸市では震災を経験していない人が増えています。市民も神戸市職員もすでに40%を超える人が「震災を知らない世代」なのです。

今、K-TECでは、次の世代に震災の経験をどう伝えていくかを議論しています。その中で、“足もと”の神戸市職員にこそ、まず伝承していく必要がある、ということになりました。元市長の笹山さんは、「応援に行ける人間をつくれ」とよく言われていました。被災地に派遣されても指示待ちにならない人間をつくれということです。

昨年度、神戸市職員を対象に行ったK-TECの防災研修「入門編」でのアンケート結果によると、「継続的に、時間をかけて、じっくりと」話を聞きたい。また、学びたいことについて、阪神・淡路大震災では、震災当時の市職員や神戸市、県、国の対応について、また、東日本大震災では、応援職員の話や復旧・復興の最新の状況、制度創設等、国の動きについてをあげていました。これらのにこにこに答える研修を職員人材開発センター、危機管理室と連携しながら実施していきたいと考えています。



神戸市職員対象の防災研修「入門編」の様子

また、学校教育の場での伝承も継続していきます。

K-TECでは、神戸学院大学で8年前から「阪神・淡路大震災研究」の講座で、前期は「阪神・淡路大震災とは何であったのか」、後期は「安全で安心な都市への復興はどのように進められたのか」の

テーマのもと、K-TECの会員が順番に体験したことを学生に伝えています。

最近では、神戸流通科学大学でも5回シリーズの授業が始まりました。

さらに、NPO団体などとも連携しながら、東日本大震災の様子も含めた災害時の対応については、神戸を訪れる修学旅行生などと語り合いたいと思っています。



神戸学院大学での授業

2. 被災地支援の継続

自然災害の被災地支援も我々の出来る範囲で続けていきます。そのため、今年9月、東日本の被災自治体職員を神戸に招へいして行った「復興まちづくりセミナーin神戸」の第2回目を来年度も計画していきます。

我々との意見交換から参考になるヒントを持ち帰ってもらうとともに、研修後も参加者とのネットワークを活用して交流していくことが大事だと感じています。

各市町の自治体職員がスキルアップし、復興の過程で中心的役割を果たしていくことが大切と考えます。K-TECのセミナーとフォローアップの活動が、そのための一助になればと思っています。

3. 研究活動の充実

研究活動も、K-TECの活動の重要な柱です。特に、南海トラフに起因する地震は、今後30年以内に発生する確率が、60～70%といわれています。東日本大震災が大いに参考になりますが、神戸に置き換えた時どうなるのかを研究しなければならぬテーマと考えています。

今後もこういった継続的な活動を通して、次世代へと繋げていきたいと思っています。

まちづくり会館20周年記念 12月のイベント案内

中高生の部

活動事例報告会

入場無料 申込不要 定員70名

- ◆時間：午前10時～11時30分 ◆場所：2階ホール
- ◆内容：中学生・高校生による東日本への支援、現地での活動や交流、また東日本の学校との交流など。東日本に関する活動について報告します。

午前：中高生の部
午後：一般の部

12月15日(日) 「東日本の今！」

◆時間：午後1:30～3:30
◆場所：2階ホール

- 第1部：講演会「東日本大震災支援者が語る支援状況と現状」
- 第2部：パネルディスカッション「東日本の震災被災地で学ぶ」

入場無料 申込不要 定員70名

講演&パネルディスカッション

一般の部

まちなかニュース@灘区福住通3丁目

福住通3丁目は、阪急王子公園駅から東へ徒歩5分程に位置し、駅や商店街が近く便利な一方、狭い道路に住宅が密集して災害時に避難が困難な地域です。まちづくりを進めている摩耶地区まちづくり協議会福住通3丁目部会では、現在、具体的なまちづくりの課題の改善に向けた検討をしています。第1段階として、段差のある狭い道の縁を黄色いペンキで塗り、危険箇所の啓発を行いました。ペンキが塗られた道は、住民の方から「縁がわかりやすくなって安心」とのコメントがありました。今後も継続的なまちづくりの取り組みが期待されます！



危険箇所のペンキ塗りの様子



まちづくり会館展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

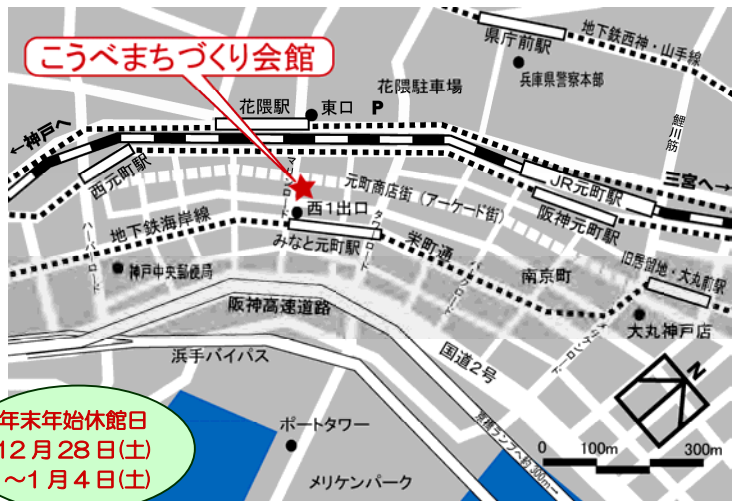
※展示期間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主催者
11/28(木)～12/3(火)	会館20周年記念 地域まちづくり展「新開地」	こうべまちづくり会館
12/5(木)～12/10(火)	会館20周年記念 すまいまちづくり学習フェスタ三都市巡回展	こうべまちづくり会館
12/12(木)～12/17(火)	会館20周年記念 「東日本の今！」写真展・活動紹介パネル展	こうべまちづくり会館
12/19(木)～12/27(金)	会館20周年記念 企画展	こうべまちづくり会館

地階ギャラリーの予定

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主催者
11/29(金)～12/3(火)	フランス額装飾 坂本宣子&生徒作品展 〈額装〉	坂本宣子
12/5(木)～12/10(火)	彩風会展 〈水彩〉	彩風会
12/12(木)～12/17(火)	川崎重工グループ 絵画展 〈油彩・水彩〉	川崎重工グループ
12/19(木)～1/7(火)	会館20周年記念企画展「CAN あつ～仲間たち～」〈絵画等〉	こうべまちづくり会館
1/9(木)～1/14(火)	神戸大学写真部 部展 〈写真〉	神戸大学写真部



神戸市立 こうべまちづくり会館

開館時間：午前9時30分～午後6時(水曜日休館)

場 所：元町商店街4丁目西端の南側角
地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分
神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分
「西元町」東口から東へ5分
JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分

〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14
電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-sumai-machi.or.jp/matisen/>

コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談
受付：午前9時30分～午後5時30分(印刷は～5時)
電話・FAX：078-361-4565 (水曜日休館)

年末年始休館日
12月28日(土)
～1月4日(土)

まちセンメールマガジン
「せん太ちゃん通信」配信中！

お申込は、mati3@kobe-sumai-machi.or.jp宛に「メルマガ配信希望」の件名で空メールを送信または右のQRコードをご利用ください。



まちづくり会館では地域の取り組み等を取材して紹介しています！
発信したい地域の取り組み等がありましたらぜひご連絡ください！